

平成 19 年度第 3 回調査・研究部議事録
日 時：平成 19 年 9 月 10 日(金) 14:00～17:00
場 所：地盤工学会 JGS 会館 大会議室
出席者：善部長ほか 18 名

【審議事項】

・前回（H19/7/20 開催）議事録の確認
承認された。

・全体関係

1. 調査・研究部の組織および運営について

武田理事より会議のあり方について説明があった。従来は全員参加の会議であったが、これを全員参加の「調査・研究部会」と部長、理事および担当幹事が出席する「運営会議」に分ける旨の提案があった。検討の結果、7月・11月・3月に全員参加の「調査・研究部会」を開催し、4月・9月・1月に「運営会議」を行うことになった。

現在、委員会担当・行事担当・情報担当という呼び名で活動を行っているが、これを「規定」通り「研究統轄委員会」と「行事情報委員会」と称して活動を行うか否かについて討議した。この件は次回に再整理することとなった。

2. 調査・研究部規程の変更

単純な章番号の変更であり、調査・研究部会として了承する。

3. 関連学会対応委員会の異動について（継続）

1) 「国際岩の力学会」関係・・・岩盤工学委員会（企画部内）

2) 「国際ジオシンセティックス学会日本支部」関係・・・ジオシンセティックス工学委員会（企画部内）
企画部から調査・研究部に異動することについて、受け入れを承認した。今年度の予算はそのまま、来年度から調査部の予算に従って頂く旨を確認することになった。

4. 平成 19 年度実施計画および平成 20 年度事業計画，予算案の作成について

提出期限：平成 19 年 10 月 26 日（木），提出先：事務局長

1) 平成 19 年度活動目標と実施計画

2) 平成 20 年度事業方針，実施計画（案）

行事関連の活動に、「60 周年関連の準備について」記述する。情報関連の活動に地盤工学に関する種々の情報を効率的、「経済的」に管理、公開する電子システムに修正する。

3) 平成 20 年度第一次予算案

5. 緊急委員会の設置について（継続）

1) 「盛土の耐震設計に関する研究委員会（仮題）」委員長候補：安田 進 氏

6. 委託研究業務の申込み

1) 地山補強土材の引抜き特性に関する研究業務・・・受託先：(財) 鉄道総合技術研究所

・部会・委員会関係

1. 委員の追加

1) レーザースキャナによる斜面地形情報取得技術の高度化とその利用に関する研究委員会

・大窪 克己 氏（(株) 高速道路総合技術研究所）

・小野田 敏 氏（アジア航測（株））

上記 2 名の委員が地盤工学会の会員であることを確認した。追加は承認された。

・研究統括委員会関係

1. 「国際競争力向上のために政策と提言」研究委員会について

中澤委員会担当幹事より、この委員会は調査委員会の位置づけになった、との報告があった。委員会名称と活動内容に乖離が見られること、委員長が確定していないことから、さらに調整して頂くことになった。

2. 平成 20 年度新設委員会設立に関する調査研究部案について

・行事情報委員会関係

1. 研究発表会

1) 第 42 回地盤工学研究発表会（名古屋大会：19/7/4(水)～6(金) 名古屋国際会議場）

地盤工学研究発表会優秀論文者賞の選定について（再審議）
承認された。

2) 第 43 回地盤工学研究発表会（広島大会）

論文投稿，WEB 受付，CD-ROM 作成に関するスケジュール

WEB 受け付けの経費について質問があった。毎年減少しているとの報告があった。

DS への申込み

「土と基礎」12 月号会告案

論文受付の締切日を延長できないか、との意見が出された。プログラム編成の日程もあるので極端に延長はできないが、見直して可能であれば延長することになった。

DS の数が多すぎないか、会場を取るわりに参加者が少ないと意義が薄いのではないかと、DS は一般論文を含めて出席者を増やすべきである、との意見が出された。広島での予定は名古屋と同数であるが、現在の申込みは名古屋より少なめであるとの報告があった。今後も検討することになった。

「展望」をどのようにするかも議論の分かれる所である。担当は本部であるが、会場の配置は支部担当となるのでコマ割に入れるかどうかを 3 月に決定する必要がある。展望のテーマについても各委員より案を出して頂くことになった。

プログラム編成については、基準部からの地盤環境の箇所を見直したいとの意見があり、確認することになった。

技術者交流特別セッション

（資料 19-3-13）

特別セッションの参加案内について報告があった。普段から交流があり、規模の大きい学会に案内を出しているとのことである。このまま進めて頂くことになった。

参加学会に対して、セッションの印刷費は負担するが、旅費は負担しない方向とする。

3) 第 44 回地盤工学研究発表会（関東大会：21 年度）

開催候補地：神奈川県横浜市 - 関東学院大学を第一候補

開催日：平成 21 年 8 月の下旬

前回の調査・研究部会の意見を踏まえて大学にて開催する方向となった。関東支部で実行委員会を作る方向である。

2. 情報関係

1) 電子図書室システムの今後の方向性について

（資料 19-3-14）

資料 19-3-14 に基づいて説明があった。現在のシステムは来年度まで契約が残っていること、今後の方向として有料化も含めて案 1 から案 5 があることが示された。最適案を選択するために検討を継続する旨、説明があった。

【報告事項】

・理事会（H19/7/27）開催報告

・研究統括委員会関係

1. 18 年度終了委員会の成果について

1) 基礎構造の設計に関わる新技術評価に関する研究委員会（成果報告書）

2. 研究統括委員会細則の改訂について

・行事情報委員会関係

1. 第 42 回地盤工学研究発表会

1) 会計報告（第 2 次案）

2) 運営関連事項についての報告，意見

小高代理より会計報告等の報告があった。技術展示の参加会社を集めるのに苦労したこと、アルバイトを機動的に配置して節約を図った、参加者を増やすことが収支に最も寄与する、等の説明があった。

善部長より、時間的に間に合えばアンケート結果を土と基礎に掲載してほしい旨の要望があった。

2. 第 43 回地盤工学研究発表会（広島大会）

- 1) 技術者交流特別セッション WG 開催報告
WGグループリーダーを土倉幹事が担当することについて承認された。
3. 第7回地盤環境シンポジウムの開催報告
承認された。
4. 電子図書室の論文公開状況
その他
次回は11/22(木)午後で開催予定となった。

以上